

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中濃特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年2月27日(火) 10:00~12:00
- 3 開催場所 中濃特別支援学校 特別棟2階会議室
- 4 参加者

会長	大谷 弘	各務原市手をつなぐ育成会理事長
副会長	伊藤 園美	岐阜県立ひまわりの丘第一学園長
委員	朝倉 勝美	せき防災の会代表
	梅田 美保	美濃市ひばり園サービス管理責任者
	酒向 光男	向山町自治会長(欠席)
	佐藤 由紀子	株式会社e-パック サービス管理責任者
	澤井 基光	岐阜県民生委員児童委員協議会会長
	村田 泰弘	中部学院大学短期大学部幼児教育学科准教授
	山田 香奈江	岐阜県立中濃特別支援学校同窓会後援会長
	後藤 好子	岐阜県立中濃特別支援学校PTA会長
学校側	大島 達史	校長
	廣瀬 雅行	副校長
	村山 朋子	事務部長
	平野 直子	教頭
	古田 洋子	小学部主事
	森 雅明	中学部主事
	三宅 千絵	高等部主事
	浅野 泉	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和5年度の教育実践について

・各部の授業、行事、各種交流、修学旅行等について、各部主事より映像と共に説明した。

意見1: 我が子は卒業した今も、学校行事が思い出に残っている。児童生徒が体験を通して学ぶような活動はとても大切である。

意見2: 児童生徒一人一人に合った活動が設定されていることが分かった。これらの体験が、卒業後に地域に出ていくときの力となっていると感じた。

意見3: 経験から、児童生徒が体験の積み重ねを通して理解することを実感している。公共交通機関の利用に引き続き取り組み、幅広く経験を積み上げてもらいたい。

意見4: 買い物の際に必ず千円札を出す子がいる。机上の学びだけでなく、実際に金銭をやり取りする買い物の体験を大切にしてもらいたい。

意見5: 児童生徒が自己決定する経験が大切。選択を引き出す支援を大切にしてほしい。

意見6: 地震等による避難時にはいろいろな人に助けをもらうことになる。防災の視点からも校外に出ていろいろな人に会い、関わる体験を大切にもらいたい。

意見7：社会に出てから人間関係の広がりを作ることは難しい。学校生活において仲間と一緒に活動する様々な経験をとおして仲間とのつながりを大切にしてもらいたい。

意見8：児童生徒にとって、少し頑張る経験も大切である。普段とは異なる環境での活動には、安心できる教師や友達と一緒にだからこそ少し頑張ることができると思う。

意見9：卒業後の余暇活動を見据えた取組が素晴らしい。

◎今年度の教育実践について、全委員より賛同を得た。

(2) 令和5年度の自己評価・学校関係者評価について

・各部と各分掌の自己評価について、それぞれ部主事と教頭から説明した。

意見1：我が子は本人が学校での様子を伝えることが難しいため、在学中は連絡帳が頼りであった連絡帳でのやり取りがあることで安心して学校に通わせることができた。

意見2：「すぐメール」で宿泊学習や修学旅行の様子を紹介することは、保護者の安心につながっているため、是非継続してもらいたい。

意見3：ホームページは、写真が掲載され見やすいものであれば、見てみようかなという気持ちになる。視覚的な見やすさの視点を大切にもらいたい。

意見4：当方においても、ホームページに活動の様子を掲載してきたが、どれだけの方が見てくださっているのかは分からず、情報発信の難しさを痛感している。

意見5：教師が教育活動以外に注力することにならないよう、教師の研修は必要ではあるが、授業に生かせる範囲でお願いしたい。

意見6：働き始めると、様々な年代の方との関わることになる。学校で実施されている地域の方との交流は、卒業後につながる取組である。

意見7：進路指導が実施している福祉事業所説明会の取組は、将来への漠然とした不安をもつ保護者にとってとても有意義で、事業所に話を聞きに行くきっかけとなる取組である。

意見8：社会ではその場に合った言葉遣いも大切となるがその基礎が挨拶であると思う。学校全体を通して、各部において挨拶を重点目標に掲げて取り組まれている。

◎今年度の各部と各分掌の取組とその改善について、全委員より賛同を得た。

(3) 高等部作業製品販売価格について

・臨時学校運営協議会（書面会議）の結果報告

◎布加工班のトートバックの金額設定について、全委員より承認を得ていることを報告した。

6 会議のまとめ

協議では今年度の各部の教育実践についてと各部と各分掌の取組やその改善について委員の賛同を得ることができた。委員からは、学校の教育全体を通して、児童生徒の体験的な授業や交流活動のような体験を仲間と一緒に取り組んでいることが評価された。また、学校評価アンケートの反省に基づいた取組の改善が細かに進められているとの意見をもらった。

今回の会議では、高評価と同時に期待を込めた意見も多くあり、今後は、それを来年度の本校の教育にいかしていく。